## 春野菜の生育状況と4月の価格見通しについて(4月2日現在) (東京都中央卸売市場に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる)

## (総論)

品	目	現 在 の 生 育 状 況 等
根	菜類	低温等の影響により <mark>生育は遅延</mark> 。ただし、にんじんの生育は平年並。
葉:	茎菜類	低温等の影響により <mark>生育は遅延</mark> 。ただし、ほうれんそうの生育は概ね平年並。
果	菜類	曇雲天の影響により <mark>生育は遅延</mark> 。
土	物類	佐賀県のたまねぎについては低温等の影響により <mark>生育は遅延</mark> 。ばれいしょ等については概ね平年並。

品目	主 産 県 ※()書きは 昨年4月の入	現在の生育状況等	価格 身	乱通 し
	荷シェア。		4月前半	4月後半
だいこん	ノ 千 葉(76%) 神奈川(15%)	神奈川県が出荷の終盤となる中で、低温の影響により千葉県においてトンネル栽培の生育が遅延しており、 <u>出荷数量は平年を下回る</u> ため、前半の価格は平年を上回る見込み。 後半は、気温の上昇に伴い、 <u>出荷数量は平年並に回復</u> し、価格は概ね平 <u>年並</u> になる見込み。	*	
にんじん	グ 徳 島(76%) 千 葉(5%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。		

はくさい	茨 城(86%)	茨城県において、低温の影響により生育が遅延しており、出荷数量は平		
	兵 庫 (8%)	年を下回るため、前半の価格は平年を上回る見込み。	_	
		後半は、気温の上昇に伴い、出荷数量は平年並に回復し、価格は平年並		
		<u> </u>		
キャベツ	神奈川(43%)	低温等の影響により、 <u>出荷数量は平年をやや下回る</u> 見込みであるが、 <u>価</u>		
	1			
	愛 知(39%)	格は概ね平年並になる見込み。	<b></b>	<b>─</b>
		ただし、今後、特売やイベント需要等が増加すれば、特に前半の価格は		
		上昇する可能性。		
ほうれんそう	群 馬(32%)	低温等の影響により、 <u>出荷数量は平年をやや下回る</u> 見込みであるが、 <u>価</u>		
	埼 玉(27%)	格は概ね平年並になる見込み。	<b></b>	<b>→</b>
ね ぎ	千 葉(40%)	低温等の影響により、 <u>出荷数量は平年をやや下回る</u> 見込みであるが、 <u>価</u>		
	埼 玉(22%)	格は概ね平年並になる見込み。	<b></b>	<b></b>
レタス	茨 城(67%)	茨城県において、低温の影響により生育が遅延しており、出荷数量は平		
	兵 庫(12%)	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	<b>7</b>	
		後半は、気温の上昇に伴い、出荷数量は平年並に回復し、価格は平年並		<b></b>
		になる見込み。		
きゅうり	埼 玉(30%)	曇天の影響により、生育が遅延して <u>出荷数量は平年を下回る</u> ため、 <u>前半</u>		
	群 馬(22%)	の価格は平年を上回る見込み。	_	
	和士 <i>流</i> 引(とと/0/	<u>後半</u> は、天候の回復に伴い、 <u>出荷数量は平年並に回復し、価格は平年並</u>		
		になる見込み。		

なす	高 知(53%) 福 岡(21%)	曇天の影響により、生育が遅延しており、 <u>出荷数量は平年を下回る</u> ため、 前半の価格は平年を上回る見込み。 後半は、天候の回復に伴い、 <u>出荷数量は平年並に回復し、価格は平年並</u>	_	
F 4 F	析 木(22%)	になる見込み。 曇雨天の影響により、生育の遅延や病害が発生しており、出荷数量は平		
	熊 本(22%)	<u>年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。	•	*
ピーマン	· 茨 城(50%) 宮 崎(17%)	曇天の影響により、着果数が少なく、 <u>出荷数量は平年を下回る</u> ため、 <u>前半の価格は平年を上回る</u> 見込み。 後半は、天候の回復に伴い、 <u>出荷数量は平年並に回復</u> し、 <u>価格は平年並</u> になる見込み。	*	-
ばれいしょ	北海道(49%) 鹿児島(46%)	北海道において平年の収量をやや下回り、鹿児島においては低温等の影響により出荷数量は平年をやや下回る見込みであるが、価格は概ね平年並になる見込み。		
さといも	・ 葉 (43%) 埼 玉 (34%)	収穫は概ね終了しており収量は平年並であることから、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。		
たまねき	佐 賀(44%) 北海道(39%)	北海道において収量は平年の8割程度であり、佐賀県においては曇雨 天・低温の影響により <u>出荷数量は平年を下回る</u> 見込みであるが、 <u>減少分を</u> 海外から輸入するため価格は平年並になる見込み。		